

刊夕日二十月九

# 常磐毎日新聞

定額 一月五拾五圓 三月一拾五圓 半年二拾五圓 一年四拾五圓  
印刷所 常磐毎日新聞社  
電話 六三〇番

## 神佛御利やく考

真繼 雲山

無信の人には不幸災厄が迫り、篤信家には金や名譽が雲集するかと云ふに、必ずしも然らず反對に憎まれ子、世にはびこり、悪黨はいやが上に榮えて、善人に不幸つゞきといふが世の習ひである。それでは善因善果の佛説は臺なしとなり、信心もよい加減なものではないかといふ話になる。

これはなか／＼面白い疑問である。世間多くの神佛を祈るものは、その信心の功德によつて幸福を得たい息災延命、家内安全、商賈繁昌いたしますやうにと願ふてゐるのである。さういふ願ひも、子供がお菓子をおねだるやうな話で、ねだつて悪いといふのではないがねだつてくれずとも親の財力として與へられるだけのものは與へてあるのだし、今後も必定して與へずには置かぬ、それを殊更に一々祈願するのは、親を信ぜず心に不足ある故のいたすところだから結局、本統の信仰ではない、謂はゆる異安心に外ならぬ、眞實の信心に不足や祈禱はなき筈といふのが浄土眞宗の立前であるし、祈禱せば必ずそれだけの御利益ありとするの

が眞言宗や日蓮宗などの立前である。

祈禱によつて御利益ありといふのは唯佛與佛、乃能究蕪の境界で、凡智の解記し得べき限りではないが、祈禱が百發百中、必ず効顯ありといふわけにはゆかぬことは、神佛の御はからひも宿因の上にあるを示すもので、壽命の盡きた病人は治りやうがない、而かも何人も壽つて死なねばならぬのであるから、業によつて生れて來た以上には、業の展開は、如何なる方法を以てするも左右し得べきではない。

結局、宿業を宿業と見て生死のまことの姿を知りさうした生死輪廻の世界から離れることが解脱である。これを悟るといふも不可なり。智慧少なくて悟り得ぬものは、釋尊の悟られた通りを信するの外ない。

現世かぎりの常識的決算として、善因に必ずしも善果來らず、惡業に却つて善果の訪れてゐるやうに見ゆる所以のものは、因果律は三世に跨るものであり、且つは眼に見えぬ冥々の裡に因果關係は網の目の如く織り成されてゐるからであらう。

左れど淺薄な人智を以てするも原則的、常識的に概

観して、信心篤き家の内には、まづしくともいづも春風が吹く。惡鬼の如き無信の家には、おのづから暗慘の毒氣みなぎること、目今の世相にあつても大體うなづき得る。但し『淫祠無福』といふ言葉がある。如何に金切り聲を絞るといへども淫祠邪教の信奉にては詮なきことである。

左れど正信なればとて、必ずしも信心によりて厄病は退散し、お金が降つて來るとは限らず、如何に信仰は深くとも、業の展開によつてそれだの災難もあり得るのである。たゞ信仰が足りない時には、さうした世間的榮落によつて心に強き苦惱を感じるし、信心が徹底してゐれば、萬難迫り來るとも苦惱を感ずることがない。苦惱するから災厄が苦になるのである。災厄に遭ふて苦しむことなくば災厄を掃ひ得たるにひとしい。それが本統の信仰の功德御利益といふものである

佛とは、どういふお姿であるかといふ問題に對して親鸞聖人は『色もなく形もまじさらず』と申してゐるが、その形とは業の報ひのことである。一切の形は業の展開である。この故に佛は業報を受け給はず、然る故に形はまじさぬのであ

る。又。色とは煩惱のことである。私たち一切有情は業と煩惱とによつて組織されてゐる、この故に苦惱が絶えない、その業報と煩惱から離るゝを悟りの體とす。離るゝとは囚はれぬことである。その業報煩惱から解脱した上に立つて、假りに妻子を持ち、化益救済のために、假りに凡身を現じて生きてゐるといふのが在家信後の法味である。

## 御料鹽豚

町田三三三屋

電話三三三番

一冊の代金で御希望通りな五冊の雑誌が自由に讀める川崎巡回文庫 電六三〇番 (申込次第規則書進呈)

## 藤沼醫院

科病柳花科兒小科内 應需院入 平町電七〇番 紺屋五番

## 外科

專門線光

上田外科病院

平町南町 電話一二九番

電話新設 二九八番

右新設致しましたから御利用願上ます

有隣生命保險平代理店 東洋白土會社常磐販賣部

佐々木龍若

平町四軒町一八

質物一般 各種債券類

## 三井質店

平町四丁目川岸 電話六〇六番

漆器は共が専門

品質の正確と!!! 値段の破格と!!! 在庫品の豊富と!!! 懸命の奉仕は!!!

## 丸共共榮漆器店

記念表彰品。恩賜賞品。賞品景品類。御注文應調製 進物贈答品。 平町三丁目北裏(元郵便局裏通り) (十三才ヨリ二十二才マデ) 店員募集

## たひら正宗

美味! 芳醇! 山崎合名會社 電話一〇番

月曜言論

學級難と公會堂

現在の平第三小學校が建設計劃の當初に在つて鎌田新川町、六丁目等の東部方面及び南町や本町通りの中央部方面とが敷地の争奪戦を演じて互ひに一步も譲ら

水戸遠征の

警女軍戦績

庭球排球に優勝し

既報警城高等女學校にては昨日水戸市へ遠征し同市女學校及び女子師範學校と對戦したが戦績は左の如く庭球、排球は優勝の栄冠を獲

共濟病院の

主腦者が決定

會長に井上茂作氏

平町警城共濟病院共濟會では昨日同病院に理事會を開會し會長並に副會長等の改選を行つた結果會長には

警中にも

職員チーム

警城中學校にては此程職員チームを組織し昨日午後二時より常磐銀行と初試合を行つたがメンバーは左の如く十二對八のスコアにて

記者側大敗

入山對野球

既報平記者團對入山老年組の野球試合は昨日午後二時より入山グラウンドに於て近藤(球)石坂 淺妻(壘)各審判の下に平記者團先攻にて

玉川信用組合

更生を圖る

石城郡玉川村信用購買組合では從來營業休止の状態に

Score table for various sports events including basketball and volleyball results.

大野組合創立

石城郡大野村に新設される信用購買販賣組合は其後設立委員が盛んに會員を勧誘した結果現在では會員三百

教員講習報告

二小學校にては本日午後二時より過般東京御殿場及び和歌山市に於て行れた全國教員講習會に出席した金澤

匪賊夜話

掃蕩 滿洲奉天駐劄 軍曹矢野重光

夜襲の寒さ

旺清に着いて營したのは六月二十三日夕刻だつた。四圍の山には大刀會匪がゐるので露營地の四圍に敵兵

壕を構築して至嚴な警戒をした。午後七時頃東北方山上より大刀會匪の攻撃を受け第三中隊は全員警急集合を命ぜられ直ちに此の敵を撃退した。その夜は第三小隊が陣地に就き夜を徹することゝなつた。

# 事實は

## 神が知る 受難の中村牧師が 悲壯な決意を抱く

宮田夫婦心中事件飛まつ

平町鍛冶町宮田誠吉君夫婦の心中事件に關し其の動機が日本基督教會中村牧師の私行に起因すると傳へられたるが同牧師は噂の渦中に在つて事實は神のみがしるし召すとの宗教的高雅な信念より一切是れ等に對し釋明的の方法を執らず若し揣摩臆測の爲めに誤解さるゝ様な事があれば

神の答として此の受難を甘受しやうとの悲壯な決心を持つに至つた従つて自己の信する正道に向つて敢然と押し進む上には辭職或ひは轉任等を爲すは寧ろ卑怯であると爲し

今後も雄々しく神の僕として布教に働く事となつた

## 明日の 乃木祭と 遺物展の出陳物

先づ香華を手向けて

既報平第二小學校にては明日の乃木祭に同將軍遺物展覽會を催す爲め各保護者に對し出品方を勸誘中の處本日迄の出品点数は掛物十本額六面書籍七冊であると尙當日のプログラムは左の如くである

開會の辭 香華を捧げ禮拜 朗讀乃木大將の幼兒(尋五)お話乃木大將(尋六)唱歌旅順開城(全校生徒)講演日本婦人と乃木大將夫人(校長)茶果

## 放火癖

懲役五年求刑

既報双葉郡熊町村大字夫澤字大藏谷地二百十一番地青戸初衛(三)が本年三月中旬村細澤正外二名方へ嘲罵されたのを憤慨し放火して廻つた放火事件の公判は去十日午前十一時半より平支部公判庭に於て中島裁判長係り竹内、關口兩判事陪席、市川檢察及び澤田書記立會湊畑辯護士列席の下に開廷

裁判長の問に對し被告は犯罪の總てを肯定し檢事の論告に移り懲役五年を求刑し後辯護士の減刑論あり四時間閉廷したが判決言渡しは来る十七日午前九時である

## 副團長選任

平青年團にて

平町青年團にては来る十五日午後二時よりマルトモホールに於て臨時總會を開き副團長を選任すると

## 執念深い豚コレラ

續々と發生相次ぐ

既報石城郡の豚コレラは小名濱、江名、平等に發生して猖獗を極めてゐるので平署では縣衛生課と協力し豫防策に死力を盡しつゝあるが本日迄に管内の撲殺数は百餘頭に達して尙も續々發生する始末に係官も持て餘して居ると

## 應援歌を

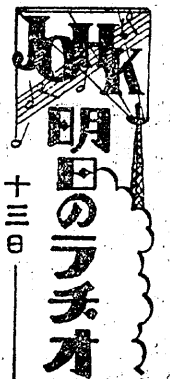
職員が作る

平第二小學校職員クラブにては同校職員中より運動競技の應援歌を募集して居るが締切は来る二十五日一等當選者には金五圓を贈呈すると

## 平町のみに

十七日に

接客業の健診 既報平署管内接客業者の健康診断は平町のみは特に来る十七日午前八時より平署



今夜は北東の風 小雨模様明日は北の風曇り

- 今晚の部  
後六、〇〇 子供の時間  
お話「渡り鳥」金井紫雲  
後六、三〇 山と海の講座  
「山と溪の春夏秋冬」冠松三郎  
後八、〇〇 趣味講座「九代目剛十郎の追憶」松井松翁  
後八、三〇 新内「明鳥後正夢」富士松小八十外  
後九、〇〇 音曲「桐の雨」  
小林與平外  
後九、三〇 満洲より  
念放送に就て關東軍參謀陸軍歩兵少佐 白田寛三  
後九、四〇 全國ニュース  
氣象通報 番組豫告  
明日の部  
前六、三〇 家庭教育講座  
「青年の心理と性」東京都帝國大學教授文學博士 野上俊夫  
前七、〇〇 ニスベラント講座(二十五)八木日出雄  
前八、〇〇 「乃木將軍二十年祭状況」乃木神社より中継  
前一〇、三〇 家庭講座「茶道隨感」(一)龜山宗目  
後一〇、五〇 吹奏樂と管絃樂「コロナオーケストラ」指揮佐藤清吉  
後二、〇〇 婦人講座「青年を育てる母親へ」(一)柴田一郎  
後六、〇〇 子供の時間

## 平館の催し

満洲事變記念日

活動常設平館にては満洲事變一ヶ年記念として是れを想起せん目的にて十三日午後六時より満洲事變實寫七巻を上映し藤田平在郷軍入分會長の講演ある筈にて此「家の光」讀者慰安會の爲め小名濱、江名、豊間、泉、玉川、湯本、鹿島等の讀者六百名を廿日午後一時より

## 自轉車乗り逃げ

捕はれて平署へ

昨夜九時頃平町二丁目料理店谷口樓の店先にあつた同店の自轉車を一名の勞働者が乗り逃げせんとしたのを附近の者が取押へ其筋に突出したが同人は安積郡丸森村生れ當時石城郡内郷村大字小島宇新町居住加藤伊之松(三)と云ふ者と判明餘罪ある見込で目下取調中

## ガソリン

値上反對

既報平署管内縣自動車協會警城支部では去る十日午後三時より平署會議室に總會を開きガソリン値上の對策方針協議せる結果縣本部の對策に加入して全國的ガソリン値上の反對運動に合流する事となつた

## 警中野外演習

警城中野外演習 警城中學校五年生は来る十九日八谷教官及び庄司、小松各教諭指導の下に小川村方面に於て野外演習を行ふと

## 永戸村道改修

永戸村道改修 石城郡永戸箕輪組合村青年團では来る廿一日より三日間奉仕的に全村道の改修工事を行ふ事となつたと

## 豚疫豫防協議

豚疫豫防協議 石城郡勿來町農會では来る十五

## 平職業紹介所報告

- 回求人部  
△自動車修繕工 二十五才  
尋卒 日五六十錢位(平町某)  
△納豆製造見習 十八才  
尋卒 月三四圓(平町某)  
△農夫 四十以下 尋卒  
給料面談(小名濱町某)  
△豆腐賣子 三十以下 尋卒  
賣上の二割(原町某)  
回求職部  
△役職 三十八 高卒 給料面談(平町某)  
△牛乳配達 二十三才 高卒 給料面談(郡山市某)  
△女中 十八才 尋卒 給料面談(入遠野村某)  
△餅屋見習 二十五才 尋卒 給料面談(石川郡某)

## 市原醫院

平町田町 電話一四番

# 幕末剣士

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒 圓玉 演  
近藤 紫雲 畫

第四百九席

女流劍客里見靜枝

闇に閃く刃の光り

里見主計は立花侯の留守居役立花又左衛門の許に引揚げると

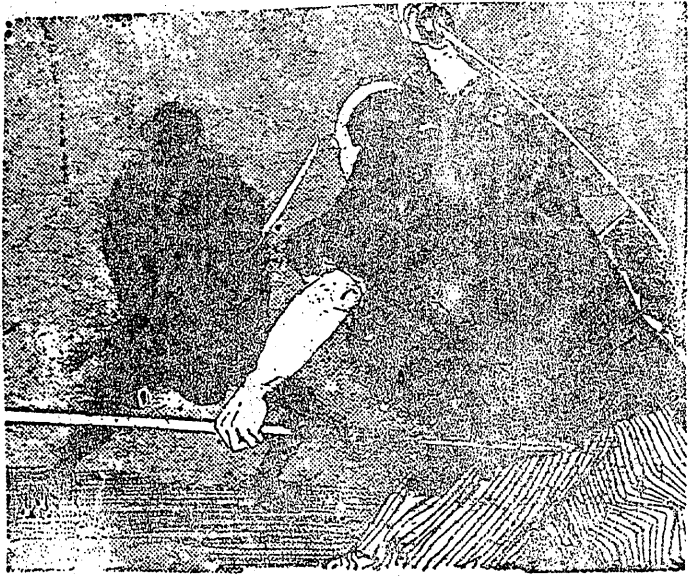
又「イヤ先生、今日は御苦勞でござつた、貴下の爲にゆく／＼當家に密を爲す悪魔も追拂ひましてござる」

主「彼も驚き居つたであらう勝を譲りくれるものとのみ思ひ居つた處を意外にも見苦しき不覺を取りし事なれば怨み居るであらうがこれを除かすばなりません」

又「然し先生、長谷部はこれを遺恨に思ひ居るでございませう御油断はなりませんぬせ」

主「イヤ御懸念御無用、拙者にこの返報をいたすほどの勇氣はござるまゝ」と申して居た儲主計は横町の自宅に引取り門人の山路金作又静枝にも今日の試合の態を話して笑つてゐたがそれより二月あまり去つたのこと、千住竹の塚の名主六兵衛は自分の門弟でその伴の初の節句につき、その喜びに行きました、當日は大分客も来て居ります、結構な料理にて酒を勧められ芽出度々々と祝して酒の

數を重ねた内に、日も暮れて其夜の十時頃になると來客もボツ／＼戻る  
六「先生、今晚はお泊り遊ばせ」  
主「イヤ／＼娘や門人は歸宅を待つて居るであらう、遅くとも戻る事にいたす」



ナ、嬰兒の内から發明な者は知れる、コレ／＼なんだ  
〇「駕が参りましてございませう」  
六「アさうが、先生乗物が参つたさうでございませう」  
主「それは手敷をかけて濟まぬ、イヤ何れ又参る今日は御馳走に預かり誠に忝ない、御妻女御免を蒙る、もう御息は寝たかナアハハハ、子供は神だナ、拙者は不幸にして男子がない娘只一人、然し孝行にいたしくれるで誠に嬉しい、イー只今参るこれは／＼失禮いたしました、然らばこれにてお別れ

先生は大分酔つてお在なされる  
駕「ヘエ氣を付けて参ります、オット先生お危なうございませう」  
主「大丈夫だ、然らば御免を蒙る、カゴに乘移り一刀の柄を下にして鑄を上にした酔つて居れど武道は忘れぬ。柄を上にして置くとは抜く時に不便です下にして置けば直に引抜くことが出來る御横嫌よう」といふ詞を背に開いて主計はカゴに揺れながら竹ノ塚を後した、時は五月の五日十時過ぎではもう月も無い、それに早月のならひで空は曇り、遠くの方で星が一つ光つてゐる、大橋を渡つて右へ切れ三ノ輪にかゝり下谷金杉へ來た、主計はカゴに背を凭してウト／＼いたし居る、今三島神社の前まで來るとヤツと云つたが、バツと突き出した槍、膝をかすめてピカリツと光つた。主計はハツと心付き、前者ツと云ひながら流れる槍の千段巻を押へて手元に引き同時に引き抜いて躍り出した、この途端にサツと後から斬り込んだ。主計は身を開いてこれを避け、狼籍いたすナと之ひながら横に拂つたがそやつはキヤツと聲を立てバツタリ倒れた、此折前から又一人斬込んで來た、バチーンとそれを受流し人達と申す者だぞ遺恨を受ける覺えは無いだ、但し汝等は物取りかと申したが何の答へもなく又斬り付ける白刃

六「左様にございませうか、それならば駕を申付けますから少々お待ち下さいませ」  
主「ア、酩酊いたしました、近頃これ程酔ふた事はない、何んにしても芽出度い事だそれに當家の伴は齡判者だ

デハないお開きといたすかナ」  
立上つた主計、足下あぶなげにやうやく玄關へ出て來た、送り出した六兵衛其他家内の者  
六「お大事にお出遊ばせ、若い衆や氣を付けておくれ

主計はそれをかはして手許へ附け入らんとした右の足が思ふ様に運べない、これは最初槍で足を突かれたものか、其時は氣が附かなんだが茲で初めて怪俄をした事が判つた。然し剛氣の主計其奴を相手に斬合ひ先方に傷を負はせた様にも思はれる、此時負傷した足を石に取られてトン／＼と前へ身體が伸びた折からサツと突出した槍……

## 外科花柳病専門 木村外科醫院

平町南町五丁目 電話三〇九番

### 看護婦急派の求めに應じます

平町南町 平看護婦會 電話三〇七番

### 季節御料理

柳川一人前 金二十五錢  
うな井 金三十五錢  
蒲焼 金五十錢  
右大々勉強出前迅速  
◎滋養豊富!風味美味!  
是非一度御試食を……

大蒲焼・鳥料理 壽司・折詰仕出し 魚榮 田町(電話四二四番)

### 耳鼻咽喉科専門

氣管食道科 大和田醫院 平南町(電話一七〇番)

度量衡、計量器、吸入用酸素、酸素吸入器 關内藥局 電話四〇番

夏期中臨時大特賣トシテ御願申シマシタ石炭モ御蔭様デ全部ヲ賣リ盡シマシタ就キマシテハ從來ノ石炭ヲ御願ヒスル事ニナリマシタカラ不相變御引立ノ程偏ニ御願申シマス

●正味十貫目 金三拾錢 御注文ハ

電話三七番 平驛前 阿部石炭商店 △配達ハ一ツ致シマス